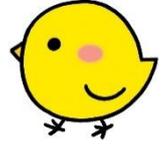


ひよこ組通信

もういくつ寝ると…号
令和4年12月22日
港区立青南幼稚園



年の瀬も押し迫ってまいりました。急に冷え込みが強くなり、各地で雪の便りが聞かれるようになりました。ひよこ組ではちょっぴり早くクリスマス気分を味わいました。皆さんのご家庭でも健康に気を付けて楽しい年末始をお過ごしください。

クリスマス気分を楽しんで

12月は二週に渡り、クリスマス飾りを作りました。台紙に色とりどりのシールを貼ったり好きな絵や模様を描いたりして、すてきなリースやブーツができました。クリスマスにはブーツにどんなプレゼントが入るかな？楽しみですね！



それぞれに自分の好きな色のシールを選んで、小さな指先に気持ちを集中させながら丁寧に貼っていました。マーカーで模様を描くときも、子どもが夢中で描く姿を保護者の方はじっと見守り、本人が満足いくまで待ってあげていました。そして出来上がった作品を見て「可愛いね！」「すてきなのができたね！」と親子で一緒に喜んでいる様子がとても温かい雰囲気でした。



チアダンスビギナー!?

青南幼稚園では毎年、在園児の保護者の方々がお楽しみ会で子どもたちに素敵なパフォーマンスを披露していただきます。そしてその中からひよこ組の子どもたちにも楽しんでもらえそうな演目を届けてくださっています。昨年は人形劇、今年はチアダンスでした。実際には18名ほどで踊ったそうですが、小さい子どもたちがビックリしないようにとの配慮から、代表の方がキラキラのポンポンをたくさん持って来てくれました。

キラキラのポンポンを見るなり子どもたちは走り寄って手に取り、すぐにうれしそうに振っていました。曲目「ジャンボリミッキー！レッツ・ダンス！」はちょっと難しい振り付けでしたが戸惑うのは先生ばかり・・・曲がかかるとリズムに乗ってポンポンを振ったり飛び跳ねたり、親子でとても楽しく踊りました。園長先生も飛び入り参加！そして最後は「ジングルベル」を踊りました。（写真が暗くてすみません。本当は明るいお部屋で皆さんすてきな笑顔でした。楽しい雰囲気をお伝えしきれず残念・・・）



反抗期をうまく乗り切ろう *今回は、反抗期について戸惑いの声にお応えします

何でも「イヤイヤ！」と反抗し、親が手を貸そうとすると「自分で！」と言い張ります。多くは2歳がピークですが早い子は1歳半頃から現れ、3歳に入っても続く子もいます。ある物事に強いこだわりをもったり、今までは大丈夫だったのに突然拒否したりします。またこだわると同じことを繰り返しやりたがり、できないと癇癪を起したり大泣きしたりします。行動範囲が広がって危険な場面も増え、親は常にハラハラ、イライラすることでしょう。子どもの変化に戸惑い、ストレスを感じるかもしれませんが、反抗期は子どもが発達しているサインです。通過年齢や程度に個人差はあるもののほとんど誰もが通る道です。忙しいときのこうした行動にはつい怒りたくなることもあると思いますが、真っ向から感情的に処理しようとする子どもはさらに反抗し、手が付けられなくなることもあります。食事、着替え、外出時など、時間のない中で十分させてあげることが難しい場合もあるかもしれませんが、待つということはこの時期特に大切です。本人が納得いくまでやらせてあげる機会をできるだけ作ってあげてください。「自分で！」と言い張るときがチャンス！少しだけ手を貸したり段取りだけ付けてあげたりして後はやらせてみてください。そしてできた時には「自分でできたね」と一緒に喜んであげてください。時間がかかっても自分でできたときは満足感や達成感が得られ、その後の自主性に大いにつながります。

5歳前後にも反抗期はやってきます。口答えや「ママだってやってないでしょ」などと指摘されてしまうことも。思わずカチンと来てしまいますが、これは言葉が豊かになり状況が分かるようになった証拠です。この時期、子どもはすんなり言うことを聞かないという前提で時間に余裕をもつようにしましょう。また「～しなさい」ではなく「～してくれない？」「～してくれるとうれしいな」のように依頼系にすると、親から信頼されている気がして受け入れやすくなります。片付けなどの際も「今日は何時まで遊ぶ？（何時になったら片付ける？）」「〇〇ちゃんならできかな？任せていい？」「ママ（パパ）が何か手伝うことある？」など子どもに選択させることで自分が任されているという気持ちになります。そして自分で決めてちゃんとできたときには「自分で考えてできたね」「〇〇ちゃんに任せて良かった」など認める言葉をかけてあげてください。それが自信や自己肯定感となり、様々な場面で考えて行動する礎となります。反抗期はこわくない！気持ちを楽にもって上手に乗り切りましょう。